

ゼミ活動報告 「第6回宮門会 パーティー」

木岡公貴

宮門会では特別ゼミが終わると、夜はパーティーです。先生、OB・OGの先輩方、現役ゼミ生がなんばに集まって中華を食べながら語り合います。

先生は、はじめの挨拶で私たちゼミ生にメッセージを贈ってくださいました。

この1週間で何人と出会い、何人の心を震わせることができましたか？

このお言葉を聞いて、現在働いている社会人のOB・OGの先輩方だけでなく、私も学生なりに聞いて考えていました。来春から社会人になるという今の私の立場では、働くことは想像するしかありません。働き始めると今よりも人と出会う機会は増えることにはなるのですが、人を感動させることは容易なことではないということは何となくですがわかる気がします。ただ、仕事をして人と出会うからには人の心に残ることをしたいと思っていますし、この思いは働く原動力になります。しかし、初心というものはうまくいっているときはつつい忘れてしまうものだとは思っています。この先生のお言葉はいずれ仕事でうまくいかないことがあったときに、ふと思い出せたらそれから先はまた何とかやっていけるような、初心をハッと気づかせてくれるお言葉です。



先生に続き、ゼミ生も順に挨拶していきます。宮川ゼミも大所帯になってきたことで、7期生から1期生まで全員終わるのに1時間以上かかるようになってきました。

これは去年も思っていたことではありますが、先輩方の挨拶を聞いていて、OB・OGの先輩方



は私と数歳しか変わらないのに大人のかっこよさという点で年齢以上の差を感じます。それは挨拶だけでなく、それぞれのテーブルでお話しているときでも、話の内容や些細な振る舞いから伝わってくるもので、「すげえな」とつい何度も心の声が漏れ出ていました。私もそんな素敵な大人になっていこうと今年も誓い直しました。

そして、楽しい時間はあっという間に過ぎ、パーティーはいつもの「負けないで」で感動のフィナーレを迎えます。やはり大きな円陣はいいものです。何といても全員が笑顔で歌っているのを見ていると、自分が輪の一員となれていることに嬉しくなります。私も先輩方のように笑顔で戻って来られるように頑張ります。

OB・OGのみなさん、お忙しい中、遠いところ足を運んでくださりありがとうございます。来年もぜひゼミに戻ってきてください。ご都合が合わず残念ながら今回参加できなかった先輩方、来年はいらしてください。現役生が先生とともにゼミを温めてお待ちしております。では、第7回宮門会もお楽しみに！

